



MONITOUCH

テクニカルインフォメーション

2004年1月26日

テーマ	三菱製インバータFR-E500シリーズとの接続に関して		
該当機種	V7シリーズ、V6シリーズ	No. TI-M-0024-1	1/4

Vシリーズと三菱製インバータFR-E500シリーズを接続する際、インバータ側のパラメータ設定を以下のようにする必要があります。

(ここで説明する内容は、PU運転モード(運転周波数・運転指令をタッチパネルより行う)で運転する際の内容です。必要に応じて、設定内容を変更してください。)

【パラメータ変更方法】

操作パネルの[MODE]キーを押し“パラメータ設定モード”(「Pr . . .」)にします。

[] []キーを押し、変更するパラメータ番号を表示させます。(例えば「P. 79」)

[SET]キーを押し、設定値を表示させ、[] []キーで変更する値にします。

[SET]キーを1.5秒以上押し、設定値とパラメータ番号が交互に表示されます。

交互に表示される間にもう一度[SET]キーを押すと設定値が更新されます。

1. 「パラメータ書込み禁止選択」 (Pr.77)

各種パラメータへの書込みの可否が選択できます。

パラメータ番号	内 容	設定値	工場出荷時設定値	Vシリーズと接続する際の設定
77	パラメータ書込み禁止選択	0,1,2	0	0*

*必要に応じて1,2を設定します。

Pr.77 設定値	機 能
0	PU運転モードの停止中のみ書込みが可能
1	パラメータの書込み不可能 (Pr.75, Pr.77, Pr79には書込み可能)
2	運転中の場合も、パラメータの書込みが可能

2. 運転モード選択 (Pr.79)

インバータの運転モードを選択します。

操作パネルまたはパラメータユニットによる運転 (PU 運転) 外部信号による運転 (外部運転) PU 運転と外部運転を併用した運転 (外部/PU 併用運転) があります。 **Vシリーズからの指令はPU 運転時に可能となります。**

パラメータ番号	内 容	設定値	工場出荷時設定値	Vシリーズと接続する際の設定
79	運転モード選択	0~4,6~8	1	1 *

* 必要に応じて0,3,4,6~8を設定します。

表内“(Vシリーズ:)”はVシリーズからの指令が可能かどうかを示します。(:可能、x :不可能)

Pr.79 設定値	機 能		
	運転モード	運転周波数	運転指令
0	PU 運転モードと外部運転モードを操作パネル、パラメータユニットのキー操作により変更が可能 *1 (PU 運転モード時 Vシリーズ:)		
1	PU 運転モード	内蔵周波数設定ボリュームまたは操作パネル・パラメータユニットのキー操作によるデジタル設定 (Vシリーズ:)	操作パネルまたはパラメータユニットのキー (Vシリーズ:)
2	外部運転モード	外部信号入力 (Vシリーズ: x)	外部信号入力 (Vシリーズ: x)
3	外部/PU 併用運転モード1	内蔵周波数設定ボリュームまたは操作パネル・パラメータユニットのキー操作によるデジタル設定、または外部信号入力による設定 (Vシリーズ:)	外部信号入力 (Vシリーズ: x)
4	外部/PU 併用運転モード2	外部信号入力 (Vシリーズ: x)	操作パネルまたはパラメータユニットのキー (Vシリーズ:)
6	スイッチオーバーモード		
7	外部運転モード (PU 運転インターロック)		
8	外部運転モード以外への切替え		

*1 電源投入時は外部運転モードとなる。但し、Pr.146 が[9999]の場合はPU 運転モードとなる。

3. 計算機リンク運転 (Pr.117~124)

インバータとVシリーズをRS-485通信させるために必要な設定を行います。

パラメータ番号	内容	設定値		工場出荷時設定値	Vシリーズと接続する際の設定 *1
117	局番	0~31		0	0
118	通信速度	48	4800bps	192	192
		96	9600bps		
		192	19200bps		
119	ストップビット長/ データ長	0	1ビット/8ビット	1	1
		1	2ビット/8ビット		
		10	1ビット/7ビット		
		11	2ビット/7ビット		
120	パリティチェック有無	0	なし	2	2
		1	奇数パリティあり		
		2	偶数パリティあり		
121	交信リトライ回数	0~10	通信異常発生時のリトライ回数を設定します。この回数を超えるとインバータはアラーム停止します。	1	9999
		9999	通信異常が発生してもインバータはアラーム停止しません。		
122	交信チェック時間 間隔	0	交信しない	0	9999
		0.1~999.8	交信チェック時間[s]の間隔を設定します。 ここで設定した時間、通信が行われない場合、インバータはアラーム停止します。*2		
		9999	交信チェック中止		
123	待ち時間設定	0~150	インバータからVシリーズへ送信するデータの遅延時間。	9999	9999
		9999	通信データで設定可能		
124	CR,LF 命令有無	0	CR・LF なし	1	1
		1	CR あり、LF なし		
		2	CR・LF あり		

*1 V-SFTのデフォルト設定に合わせた設定

*2 交信チェック時間間隔以内にVシリーズから通信を行わなかった場合、インバータは異常停止します。

異常停止させたくない場合は、温調ネットワークテーブルの定期読み込みを行うなど定期的にインバータと通信を行うようにしてください。

4. 周波数設定指令選択 (Pr.146)

周波数設定を内蔵周波数設定ボリュームによるアナログ設定にするか、操作キーによるデジタル設定にするかを切り替えます。**Vシリーズからの指令は操作キーによるデジタル設定時に可能となります。**

パラメータ番号	内 容	設定値	工場出荷時設定値	Vシリーズと接続する際の設定
146	周波数設定指令選択	0,1,9999	0	9999 *

* 必要に応じて1を設定します。(Vシリーズから周波数設定を行う場合は1または9999。)

Pr.146 設定値	機 能
0	内蔵周波数設定ボリューム有効 内蔵周波数設定ボリュームによる周波数設定
1	内蔵周波数設定ボリューム無効 操作キー（[] []）による周波数設定
9999	<ul style="list-style-type: none"> ・内蔵周波数設定ボリュームによる周波数設定は、操作キー（[] []）による周波数設定が「0Hz」のときに有効 ・Pr.79「運転モード選択」=「0」で電源投入時PU運転モードとなる

お問い合わせは ...



発紘電機株式会社 技術相談窓口 TEL : 076-274-5130 FAX : 076-274-5208